

学校目標 純朴にしてたくましい子ども

令和7年度
学校だより No.9

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和7年12月23日(火)
校長 宮坂 哲生

今日で2学期が終わります。この間、保護者の皆様には、様々な面で学校をお支え頂き、本当にありがとうございました。また、個別懇談会では貴重なお話を伺うことができました。共有したお子さんのよさやがんばりを、3学期につないでいきたいと思います。

2学期終業式で伝えたこと（自分で考え行動する姿）

2学期の始業式で、めざしてほしい3つの姿のお話をしました。みなさんは、この2学期の中で、どれを1番頑張ったと思いますか。何となくいいので、一番頑張ったと思うことに手をあげて下さい。先生方もお願ひします。

教室で、体育館で、校庭で、みんなが一生懸命頑張る姿を、たくさん見てきました。2学期の中で「すごいな！」と思ったことの1つは、この3つの姿の一つ、「自分で考えて行動していた」ことです。

「自分で考えて行動する」って、どういうことでしょう？それは、誰かに「～しなさい」と言われる前に、自分の頭の中で「今、これをやったら、もっと良くなるぞ」と考え、行動することです。そんな姿を2学期の中から、3つ紹介します。



1つめは、9月の運動会に向けた、1・2年生ダンスの練習のこと。2年生の一人の女の子は、入場の時から1年生のみんなが並ぶのを助けていました。ダンスする位置についてからも、心配そうに横を向いています。ダンスしながら、1年生にも気を配っていました。自分で考えて、下の学年の人を助けるという、すごい力を発揮していました。

2つめは、11月の6年生修学旅行のこと。これは、1日の夜の係ごとの反省会の様子です。いかに自分たちの仕事をスムーズに、効率的に行い、その分後の見学時間を楽しく、充実させるか。1日目の係の仕事を振り返り、熱心に意見を出し合っていました。6年生の皆さんには、自分たちの力で、次の日の「自分たちの行動をもっと良くしよう」としていました。



3つめですが、先日、東京にお住まいの岡村さんという方からお電話をいただきました。休みの日に、北山小の校庭の近くを歩いていた時に、ブランコに乗っていた4年生の2人の男の子に「校舎の間を通り抜けられるるか」を尋ねたそうです。二人は「大丈夫です」と答え、それだけでなく「ご案内しますか？」と言って、付き添ってくれたそうです。その後、岡村さんが車に乗ると、門のところで手を振って見送ってくれたそうです。岡村さんは、そのことを電話口でとてもうれしそうに話してくれました。二人が、「よい」と思うことを自分たちで考え行動したことが、岡村さ



人の心をとても温かくしました。

今3つの姿を紹介しましたが、自分で考えて行動すると、周りの人が助かるだけではありません。「自分でできた!」という気持ちが、自信にもなります。

3学期も、「自分で考えて行動する」力を大事に、毎日を過ごしましょう。

明日から冬休みですが、病気や事故に気をつけて、楽しく過ごしてください。3学期に、またみんなの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。



明日から冬休み

冬休みならではの体験を大切に、一人一人が元気に、そして有意義に過ごしてくれればと思います。以下の点、お家でもご確認いただけたらと思います。

- ・大掃除の窓拭きや、お料理の手伝いなど、家族の一員として役割を持ちましょう。
- ・「あけましておめでとう」など、親戚や近所の人にはっきりと挨拶ができるとよいです。
- ・冬休みは、スマホやタブレットを使う時間が増えやすい時です。「おうちのルール」を守り、もし変なメッセージが届いたり、トラブルになりそうだと感じたりしたら、自分で解決しようとせず、すぐにお家の人に話しましょう。
- ・冬は日が暮れるのが早いです。「暗くなる前に帰る」を守りましょう。
- ・手洗い・うがいをし、風邪などを予防して元気に過ごしましょう。



文集「からまつ」の発行について

文集「からまつ」ですが、自分の思いや考えを文章にまとめる機会となっています。ただし、その編集・製本に大変な労力がかかる状況があります。国語学習を中心に、自分の考えや思いを文章にまとめる学習は引き続き大事にしながら、文集「からまつ」の発行は、昨年度までとしたいと思います。発行を楽しみにしてくださる中、誠に申し訳ありませんが、子どもたちが自分の思いや考えを綴ったものは、参観日の折などに展示したり、機会を見てお渡ししたりしていきたいと思います。どうかよろしくお願ひします。



連絡・お願い

①北山小美術館の作品募集について

児童昇降口前に北山小美術館というスペースがあります。地域の方が制作された作品を展示し、子どもたちや学校を訪れた保護者、地域の方に見てもらっています。地域の方に、学校に足を運んでいただききっかけになればと考えています。

そんな北山小美術館に飾ってもらう作品を募集しています。個人でもグループでも構いません。地域の方にもお伝えする予定ですが、もしお知り合いの方にお声掛けいただければ、大変にありがとうございます。校長までご連絡(78-2234)いただければと思います。

②「書き損じはがきキャンペーン 2025」実施について

世界には、学校に行くことができない子どもが2億5000万人いると言われています。その背景にある貧困の連鎖を断ち切る取組として、諏訪地区6市町村の小中学校、高校で「書き損じハガキ」を回収しています。その募金は、アジアの国々へ送られ、貧困から抜け出す手助けに使われます。昨年度以前のはがきでも大丈夫です。昇降口前にポストを設置しました。お子さんに持たせてもらえばと思います。ご協力をお願いします。